

# 人権まちづくり新聞



第14号  
編集発行  
枚方人権  
まちづくり協会

## 語り継ぐ 引揚げの歴史

### 協会会員等が舞鶴で研修

十月五日、参加者四十四人で舞鶴にて現地研修をしました。

舞鶴は、第2次世界大戦終結後十三年にわたり六十万人もの大陸からの引揚者を受け入れた港です。引揚

揚記念館でまず足を止めたのは、中国人画家王希奇氏



引揚記念館で「白樺日誌」を見学

が描いた横二十センチ縦三センチの作品「一九四六」でした。引揚船に向かう約五百人が列をなし、真剣なまなざしで歩く姿に圧倒され、痛烈な緊張感を覚えました。二〇一五年にユネスコ世界記憶遺産に登録された五七〇点の一つ、「白樺日誌」にはシベリア抑留中の日々の様子や心情が、白樺の樹皮に、ブリキ缶のペンと煤のインクで、二百の短歌や俳句として、したためられています。館内案内をされた語り部の方は「二度と繰り返してはならない過去を皆が忘れないよう語り続けています」と話されました。その後、赤レンガ博物館では懐かしいレンガ造りの

建造物にふれ、レンガの歴史を学びました。

二度目の舞鶴での研修でしたが、新たな遺産等の見学ができ、平和への思いをさらに強く持ちました。



## 増えたい「男女共用トイレ」



男女共用トイレの標識

少しずつ理解が広がってはきていますが、まだまだ性的少数者の人たちが当たり前に暮らせる社会とはいえず、いろいろな場面で、男女で二分する社会のしくみや習慣が、心と体の性が一致しない「トランスジェンダー」の人たちを生きづらくさせていることは否めません。

「トランスジェンダー」の人たちが外出先で困ることのひとつがトイレの問題。多くのトイレが「女性用」「男性用」のみに分けられているからで、当事者からは「男女共用」トイレの設置が強く望まれていました。お気づきの方もおられると思いますが、最近、京阪電車の駅トイレに「男女共用」の標識が取り付けられました。こうした取り組みが拡がり、枚方市が誰にとっても暮らしやすいまちになることが望まれます。

### こんなことやっています 枚方人権まちづくり協会の相談事業

〈人権まちづくり協会〉  
サンプラザ1号館5F  
【すべての人が対象】  
TEL 072-844-8788  
[人権なんでも相談]  
月～金/9時～17時半  
(木は男の生き方相談も)  
[地域就労支援相談]  
月～水・金/9時～17時半  
(要予約)  
[進路選択支援相談]  
火曜日 (要予約)  
13時～17時/18時～20時  
[福祉なんでも相談]  
月～金/9時～17時半  
専用TEL 072-844-8866

〈男女共生フロア・ウィル〉  
サンプラザ3号館4F  
【女性のための相談】  
[電話相談]  
火15時-20時/水13時-17時  
木10時-15時  
専用TEL 072-843-7860  
[面接相談(要予約)]  
水13時-16時10分  
木15時-19:40/金10-15時  
TEL 072-843-5636  
[法律相談(要予約)]  
第1土/第2金 13:20-15:50  
第3木 17:20-19:50  
第4火 10:20-12:50  
TEL 072-843-5636



右：西原孝至監督

十月二十四日、メセナひらかたで、当協会と枚方市が主催する枚方人権文化セミナー、映画「もうろうをいきる」の上映会が行われ、一四〇人の市民等が参加しました。映画は、視覚と聴覚の両方に障がいのある盲ろう者の日常生活を追ったドキュメンタリーで、8人の登場人物が家族や支援者に支え

# 音と光のない日常を描いた

# 「もうろうをいきる」を上映

人権文化セミナー

られながらそれぞれの日常を生きる姿を淡々と描き出します。しかし、登場人物の妹さんが「姉は私のことを妹と意識しているかどうかかわからないけど、お姉ちゃんへの代わりはない」と発言するシーンにこの映画が訴えようとしていることが表れていました。

終了後に、西原孝至監督のあいさつがありました。これまで字幕や音声ガイドによるバリアフリー上映に取り組んできた監督は、全国に1万4千人とも言われながら、あまり知られていない盲ろう者の生活を紹介したいというのがこの映画の撮影動機だと話されました。また、監督は「人は、他者からその人の価値を決められるものではないし、一人ひとりのいろんな生き方が認められるべき」とも

言われ、昨今の弱者バッシングの風潮にも触れながら、「社会の側がいろんな人を認め、支えていくことが大切」と話を結ばれ、参加者の大きな拍手でセミナーを終えました。



指点字によるコミュニケーション ©2017 Siglo

**枚方人権まちづくり協会では、枚方市からの委託により各種相談窓口を開設しています。その1**

## 枚方市地域就労支援センター

「就職したいけど、何をどうすればよいかわからない。自分にはどんな仕事ができるだろうか」就職に向け、いろいろな不安を持っている方に、マンツーマンで相談に応じています。

地域就労支援相談では、履歴書・職務経歴書の書き方、面接の受け方のアドバイスなどを行っています。特に職務経歴書では、自分のキャリアやスキルをしっかりとアピールする必要があります。そのためには、これまでの職歴などを振り返り、自分のできることを確認・整理することが大切です。日々の相談では何度も書き直しをしながら作成のお手伝いをしています。

相談をしていただくのに、対象年齢や支援期間の制限はありません。また、守秘義務があり、安心してご相談いただけます。職業紹介はできません。

2月には調剤薬局事務講座（受講料無料、保育付）を実施予定です。詳しくは広報ひらかた2月号、チラシ、ホームページなどでお知らせします。

相談は予約制ですので、まずは枚方人権まちづくり協会にお電話ください。

### 会員随時募集



枚方市を市民一人ひとりの人権が大切にされるまちへ。（年会費一口1000円）

NPO法人 枚方人権まちづくり協会  
 TEL:072-844-8788 FAX:072-844-8799  
 Email hirakatajinkenkyokai@wing.ocn.ne.jp